



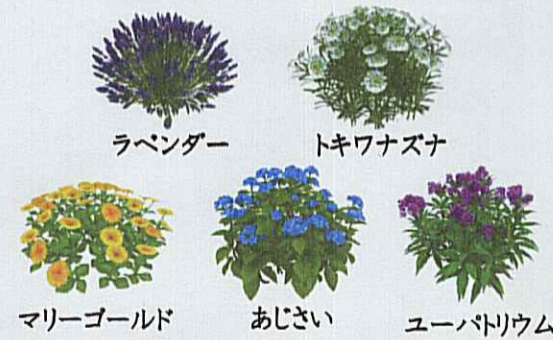
自然と人と、永遠のくつろぎを

斜面を活かしたこの休憩所では自然に囲まれながら、高さや奥行きに変化のある空間を楽しむことができる。
 来園者は自分のスケールにあった場所を選択し、その目的や滞在時間に応じたくつろぎを得る。
 何度訪れても、選択するベンチや気候・風景によって視線が変化し、飽きない空間を与え続ける。
 “自然とともに、人と人を繋げる”そのような、“長く愛され続ける憩いの場”を提案する。



全体鳥瞰図

季節に応じた植栽計画



香りのあるローズマリー系や、単体でも存在感のあるタグエス系など、鮮やかな花を中心に配置

地面と一体型の花壇



土が一体となっており、水や栄養分が循環するため、維持管理が容易



通路に開かれた、立ち寄りやすい空間



各々の高さから、広場全体を見渡せる空間



花や人と、視線を自由に合わせられる空間



距離を保ち、自分のスペースを楽しむ空間



広場との関係性を増幅させる、開かれた空間

花壇が視覚的な柵となることで、子どもの車道側への移動を抑止

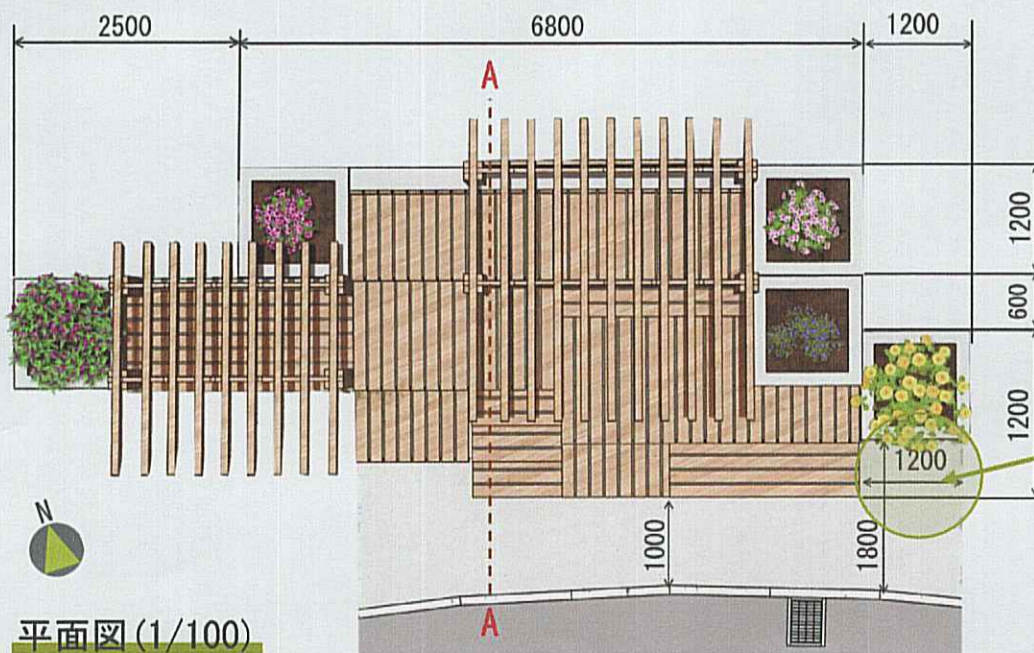
3本の木に隠れた、やすらぎのある空間

車道からの見通しの確保

広場に開かれた空間



配置図(1/300)

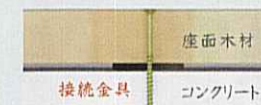


平面図(1/100)

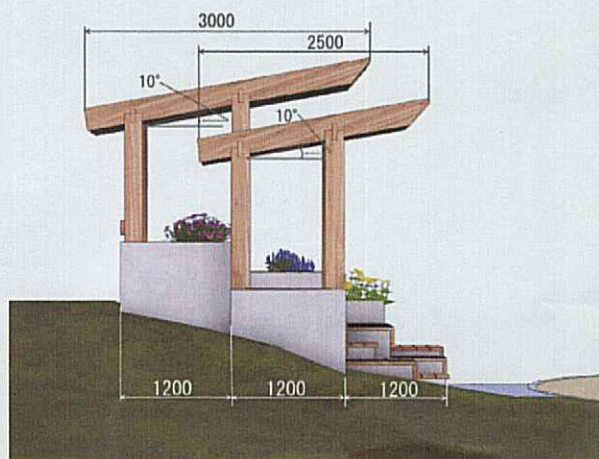
車いすやベビーカーの空間確保

くぼみになっているため、車いす利用者はベンチに座っている人と、同じライン上で視線を合わせることができる

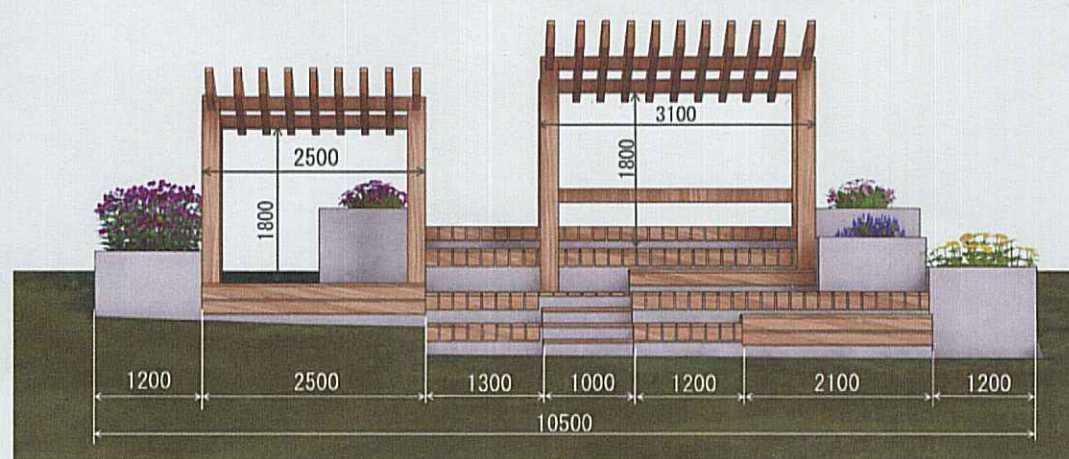
水たまり防止の工夫



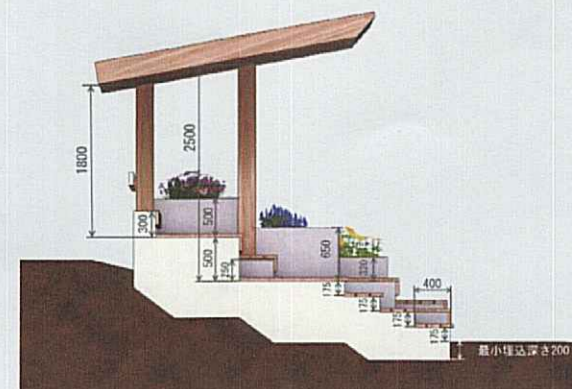
金具によって、座面の木材とコンクリートに隙間をつくり、コンクリートにも僅かな勾配をつけることで、コンクリート上の水たまりを防ぐ



西東方向立面図(1/100)



南北方向立面図(1/100)



A-A断面図(1/100)

利用者へメッセージ

多くの人に長く愛され続ける休憩場、つまり飽きない空間にすることを意識した。利用者の使い方で、ベンチにも机にも、井戸端会議ができるような縁側にもなるこの場所で、利用者自身が使い方を生み出しながら利用してほしい。花壇に囲まれたこの休憩所で、花々と視線を合わせながら、日々変化する自然とともに、この場所でしか体験できないくつろぎを得ていただけたら幸いである。

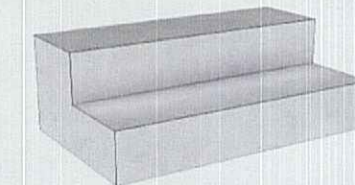
建築概要

水平投影面積	15.6㎡		
屋根材(バードガラ)	木造		
構造	RC躯体 木材座面		
使用木材	ハードウッド		
コスト概算	コンクリート立木	25.2㎡	RC躯体 木材座面 ハードウッド
	型枠面積	124.3㎡	
	掘立面積	50.7㎡	
	基礎木材貼付面積	28.7㎡	
	バードガラ面積	15.6㎡	
その他	切立体積	16.6㎡	50万円
	その他部品(金具等)	-	
合計			約710万円

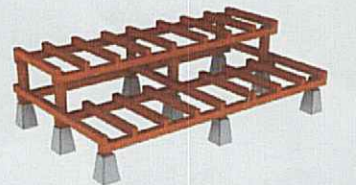
水平投影面積 計算式
 $(2.5 \times 2.5) + (3.1 \times 3.0)$
バードガラ バードガラ
 = 15.55㎡

※R5大阪府公共工事設計労務単価等、国土交通省土木工事費積算要領及び基準、コンクリート型枠歩掛、R5大阪府資材調査単価などより概算を算出

施工費削減の可能性



RC躯体



東石・木材基礎

今回の提案は景観・維持管理・LCCの観点から、基礎部にRC躯体を採用した。しかし、東石や木組みの基礎に変更することで、施工費削減の可能性が有る。